

投手陣を引っ張るトリオ

4年生 加茂 × 3年生 白崎勇 × 2年生 井口

春季リーグは惜しくも2位で終えた駒大であったが、その原動力となった要因に投手陣の活躍が挙げられる。4年生唯一の投手として投手陣をまとめる加茂勇作(国4)、今季の春は1戦目の先発を任せられ、5勝を挙げた白崎勇氣(営3)、2年生でただ一人白星を手にした井口拓皓(経2)。キャンプ期間中、秋も活躍が期待され、各学年を代表する投手3人に、春を振り返りつつ、秋への抱負を聞いた。

コマスボ(以下、コマ)：今日(7月31日)は紅白戦を行い、レギュラー打線が相手でしたが、振り返ってどうですか？
白崎勇氣(以下、白崎)：勇：良かったと思います。まあまあ問題なく。このまま、あとは技術や体のキレとかも入れていけば、まあなんとかリーグ戦を投げていけるんじゃないかなという手応えがありました。
井口拓皓(以下、井口)：僕も順調にきているなあ。
コマ：キャンプでは午前中走っているようですが、午後は何をしていますか？
白崎勇氣：最近紅白戦で投げていますけど、最初の方はフリーバッティングのピッチャーをやっているランニング。あとは守備練習をしたり。
コマ：このキャンプはどのようなキャンプにしたいか？
加茂勇作(以下、加茂)：やっぱり秋のリーグ戦も

あるけど、まずオープン戦でしっかりとしたものを出すっていうための準備をしっかりしてやるみたい。全体的にやっていると全体的に決まってくるので...
コマ：個人的には...？
白崎勇氣：僕の場合はこのキャンプで体作りというか、もう一度体を締め直すというか、そういうトレーニングをしています。
コマ：井口選手は？
井口：僕は体力作りもそうですけど、それより投げることに対して球の精度をもっと上げていきたいなと、キャンプの前からずっと思っていたので：はい。
春を振り返って
コマ：今年の春は、投手陣が万全の状態ではない中、青学大以外に全勝できました。その理由とは何だと考えますか？
加茂：やっていたやつはどう思っているかわから



加茂「質の高い練習が自信になった」

ないけど、俺からしたら去年がいけなかったわけじゃないけど、去年以上の質の高い練習をしてきたし、リーグ戦にいくまで、オープン戦も含めて、その中で白崎が引いて張って。ピッチャーとしては投げ込みもやっていたし、そういうのが自信になってマウンドで堂々と投げられたのかなと。それが試合でも投げられていいリズムに乗れていたし、最少失点に抑えてピッチャーとしての仕事を、あとはチームが全員一

つになって、まあ野手も打ってくれたし。まあ、俺は見ていた立場だから、やっていたと思うから『どう？』って言うても：『うーん？』ってなるかも。
白崎勇氣：チームの雰囲気良かったです。点を取られても追い付いてくれるんじゃないかなっていう自信があった。加茂：粘ればなんとかしてくれる。
白崎勇氣：去年なんかは1点取られちゃいけないプレッシャーみたいな



白崎勇氣 加茂勇作 井口拓皓

ものが...。僕が投げているポジションがそうだったからかもしれないんですけど。笠間さんもおそらく3点以内に抑えてくれるからいいからって言うてくたさったりして変にプレッシャーを感じることが無くて。チーム全体の雰囲気良かったって面では結構気持ちが変わりましたね。
コマ：この春は、勇氣選手がノーヒットノーランなど、いろんな活躍をしていますが、その活躍を見ていてどうでしたか？
加茂：ま、これくらいやってくれらるだろうと(苦笑)。
コマ：笑い
井口：投げたイニングが50イニングを超えていて、肩、ひじが結構大変そうだったんで、申し訳ないなあ。
加茂：マジ申し訳ないよ。これしかない。俺からしたら、上の立場からしたらそれしかない。
コマ：勇氣選手ご自身は、成績を残せたことをどう思っていますか？



◆加茂勇作(かもゆうさく) 89.1.5生まれ/投手/左投左打/170cm/68kg/掛川西高出身/文学部国文学科4年

白崎勇氣：自分的にはうれしいですよ。うれしいんですけど、やっぱり2部っていうのがあるんです。僕の中では2部でやってもいいです。2部で無四球完封だろうが、ノーヒットノーランをやっても2部なんですよ。っていうのが僕の中であります。うれしいんですけど、もう思うからやっぱ1部でやりたい。
コマ：井口選手は公式戦を経験して、春つかなんかは何だと思いませんか？
井口：投げてみて他の大学のイメージが付いた。あとは力というか、もっともつと投げられるようになっていかなきゃいけないんだなあっていうのを改めて感じて。責任感を持ってやらなきゃいけないんだなっていうのを実感しました。

尊敬し合う3人

井口：いやあ(苦笑)。白崎勇：変化球のコントロールとかは、こいつの方が全然いいです。加茂：(身振りして)こういう変化：こういう変化…。

井口：いやあ(苦笑)。白崎勇：変化球のコントロールとかは、こいつの方が全然いいです。加茂：(身振りして)こういう変化：こういう変化…。

井口：いやあ(苦笑)。白崎勇：変化球のコントロールとかは、こいつの方が全然いいです。加茂：(身振りして)こういう変化：こういう変化…。

井口：いやあ(苦笑)。白崎勇：変化球のコントロールとかは、こいつの方が全然いいです。加茂：(身振りして)こういう変化：こういう変化…。

井口：いやあ(苦笑)。白崎勇：変化球のコントロールとかは、こいつの方が全然いいです。加茂：(身振りして)こういう変化：こういう変化…。

井口：いやあ(苦笑)。白崎勇：変化球のコントロールとかは、こいつの方が全然いいです。加茂：(身振りして)こういう変化：こういう変化…。

井口：いやあ(苦笑)。白崎勇：変化球のコントロールとかは、こいつの方が全然いいです。加茂：(身振りして)こういう変化：こういう変化…。

井口：いやあ(苦笑)。白崎勇：変化球のコントロールとかは、こいつの方が全然いいです。加茂：(身振りして)こういう変化：こういう変化…。

井口：いやあ(苦笑)。白崎勇：変化球のコントロールとかは、こいつの方が全然いいです。加茂：(身振りして)こういう変化：こういう変化…。

井口：いやあ(苦笑)。白崎勇：変化球のコントロールとかは、こいつの方が全然いいです。加茂：(身振りして)こういう変化：こういう変化…。

井口：いやあ(苦笑)。白崎勇：変化球のコントロールとかは、こいつの方が全然いいです。加茂：(身振りして)こういう変化：こういう変化…。

井口：いやあ(苦笑)。白崎勇：変化球のコントロールとかは、こいつの方が全然いいです。加茂：(身振りして)こういう変化：こういう変化…。

井口：いやあ(苦笑)。白崎勇：変化球のコントロールとかは、こいつの方が全然いいです。加茂：(身振りして)こういう変化：こういう変化…。

井口：いやあ(苦笑)。白崎勇：変化球のコントロールとかは、こいつの方が全然いいです。加茂：(身振りして)こういう変化：こういう変化…。

井口：いやあ(苦笑)。白崎勇：変化球のコントロールとかは、こいつの方が全然いいです。加茂：(身振りして)こういう変化：こういう変化…。

井口：いやあ(苦笑)。白崎勇：変化球のコントロールとかは、こいつの方が全然いいです。加茂：(身振りして)こういう変化：こういう変化…。

井口：いやあ(苦笑)。白崎勇：変化球のコントロールとかは、こいつの方が全然いいです。加茂：(身振りして)こういう変化：こういう変化…。

井口：いやあ(苦笑)。白崎勇：変化球のコントロールとかは、こいつの方が全然いいです。加茂：(身振りして)こういう変化：こういう変化…。

井口：いやあ(苦笑)。白崎勇：変化球のコントロールとかは、こいつの方が全然いいです。加茂：(身振りして)こういう変化：こういう変化…。

白崎勇：スライダーに関してはほんとに取れるんだな。

加茂：スライダーを外にコントロールできる。変化球をコントロールできるのはすごい。

井口：(照れ笑い)

白崎勇：その代わり真つすぐは負けたくないですね。

井口：おおくなるほど。そこはやっぱり。

白崎勇：はい、そこは。そこだけはちよつと自分の中で持って投げています。

加茂：加茂選手は何かありますか？

加茂：俺は：白崎はさつきも言っていたけど真つすぐだよ。あとはマウンドでの余裕だよ。堂々としているというか、俺あんな堂々とできないもん。それだからめっちゃ何かできるわけじゃないけど、異様なものを持っている。

白崎勇：無いっすよ。加茂：いやいやあるよ。わかるんだよ。なんとなくわかるもん。見えるんだよね。あ、もう絶対抑えるわ、みたいな。

井口：周りもそう見ていますか？

加茂：周りがそうだからね。そんな雰囲気を出してる。

白崎勇：落ち着いているとかいうじゃないですか？結構焦っている時ありますよ(笑い)。

加茂：そりやそうやって最後まで投げ続けられるピッチャーはいないけど、でもやっぱり白崎もマウンドを経験して、いろいろ失敗しながらやってきて、ここまで来ているわけだから。それだからつてのがあるのかもしれないけど：落ち着きつていうのは、俺はあんな冷静というか落ち着けないと思うし。本当：ね(笑い)。

白崎勇：うーん(笑い)。

加茂：井口に関しては柔らかいよね。柔らかい。白崎勇：多分みんなが、そっちが思っている以上に、みんなこいつに期待していますよ。

井口：いや、こちらも：(笑い)。

白崎勇：何て言うんですか、潜在能力的にね。入ってきた時からそうだったもん。潜在能力的にこいつのことを期待していますよ。

加茂：まあ2年だしね。折り返してもないんだしこれからつよ。

井口：(笑い)。

白崎勇：落ち着いているとかいうじゃないですか？結構焦っている時ありますよ(笑い)。

加茂：そりやそうやって最後まで投げ続けられるピッチャーはいないけど、でもやっぱり白崎もマウンドを経験して、いろいろ失敗しながらやってきて、ここまで来ているわけだから。それだからつてのがあるのかもしれないけど：落ち着きつていうのは、俺はあんな冷静というか落ち着けないと思うし。本当：ね(笑い)。

秋への心構え

井口：(笑い)。

白崎勇：相手によって打球を変えるところでいう器用なことではできないから：内容的にこう変えるっていうのは特別に無いですね。結局研究しても実際打てないっていうのはあるんで。今日の紅白戦もそうですけど、あれだけ普段僕の球を見ていても打てないのに、たった春2、3回打席に立っただけで、それで研究しても打つてくるとなるとは思っていない。それだから自分の力を出し切るんだとか、投げ切るとか、投げ込むとか、気持ちの面で相手に負けないってことを意識して、春以上に、相手の気迫以上に向かっているから、上にいけるんじゃないかと思えます。自分のピッチングを変えるときか、折り返してもないんだしこれからつよ。

井口：(笑い)。

白崎勇：相手によって打球を変えるところでいう器用なことではできないから：内容的にこう変えるっていうのは特別に無いですね。結局研究しても実際打てないっていうのはあるんで。今日の紅白戦もそうですけど、あれだけ普段僕の球を見ていても打てないのに、たった春2、3回打席に立っただけで、それで研究しても打つてくるとなるとは思っていない。それだから自分の力を出し切るんだとか、投げ切るとか、投げ込むとか、気持ちの面で相手に負けないってことを意識して、春以上に、相手の気迫以上に向かっているから、上にいけるんじゃないかと思えます。自分のピッチングを変えるときか、折り返してもないんだしこれからつよ。

井口：(笑い)。

白崎勇：相手によって打球を変えるところでいう器用なことではできないから：内容的にこう変えるっていうのは特別に無いですね。結局研究しても実際打てないっていうのはあるんで。今日の紅白戦もそうですけど、あれだけ普段僕の球を見ていても打てないのに、たった春2、3回打席に立っただけで、それで研究しても打つてくるとなるとは思っていない。それだから自分の力を出し切るんだとか、投げ切るとか、投げ込むとか、気持ちの面で相手に負けないってことを意識して、春以上に、相手の気迫以上に向かっているから、上にいけるんじゃないかと思えます。自分のピッチングを変えるときか、折り返してもないんだしこれからつよ。

井口：(笑い)。

白崎勇：相手によって打球を変えるところでいう器用なことではできないから：内容的にこう変えるっていうのは特別に無いですね。結局研究しても実際打てないっていうのはあるんで。今日の紅白戦もそうですけど、あれだけ普段僕の球を見ていても打てないのに、たった春2、3回打席に立っただけで、それで研究しても打つてくるとなるとは思っていない。それだから自分の力を出し切るんだとか、投げ切るとか、投げ込むとか、気持ちの面で相手に負けないってことを意識して、春以上に、相手の気迫以上に向かっているから、上にいけるんじゃないかと思えます。自分のピッチングを変えるときか、折り返してもないんだしこれからつよ。

井口：(笑い)。

白崎勇：相手によって打球を変えるところでいう器用なことではできないから：内容的にこう変えるっていうのは特別に無いですね。結局研究しても実際打てないっていうのはあるんで。今日の紅白戦もそうですけど、あれだけ普段僕の球を見ていても打てないのに、たった春2、3回打席に立っただけで、それで研究しても打つてくるとなるとは思っていない。それだから自分の力を出し切るんだとか、投げ切るとか、投げ込むとか、気持ちの面で相手に負けないってことを意識して、春以上に、相手の気迫以上に向かっているから、上にいけるんじゃないかと思えます。自分のピッチングを変えるときか、折り返してもないんだしこれからつよ。

井口：(笑い)。

白崎勇：相手によって打球を変えるところでいう器用なことではできないから：内容的にこう変えるっていうのは特別に無いですね。結局研究しても実際打てないっていうのはあるんで。今日の紅白戦もそうですけど、あれだけ普段僕の球を見ていても打てないのに、たった春2、3回打席に立っただけで、それで研究しても打つてくるとなるとは思っていない。それだから自分の力を出し切るんだとか、投げ切るとか、投げ込むとか、気持ちの面で相手に負けないってことを意識して、春以上に、相手の気迫以上に向かっているから、上にいけるんじゃないかと思えます。自分のピッチングを変えるときか、折り返してもないんだしこれからつよ。

井口：(笑い)。

白崎勇：相手によって打球を変えるところでいう器用なことではできないから：内容的にこう変えるっていうのは特別に無いですね。結局研究しても実際打てないっていうのはあるんで。今日の紅白戦もそうですけど、あれだけ普段僕の球を見ていても打てないのに、たった春2、3回打席に立っただけで、それで研究しても打つてくるとなるとは思っていない。それだから自分の力を出し切るんだとか、投げ切るとか、投げ込むとか、気持ちの面で相手に負けないってことを意識して、春以上に、相手の気迫以上に向かっているから、上にいけるんじゃないかと思えます。自分のピッチングを変えるときか、折り返してもないんだしこれからつよ。

井口：(笑い)。

白崎勇：相手によって打球を変えるところでいう器用なことではできないから：内容的にこう変えるっていうのは特別に無いですね。結局研究しても実際打てないっていうのはあるんで。今日の紅白戦もそうですけど、あれだけ普段僕の球を見ていても打てないのに、たった春2、3回打席に立っただけで、それで研究しても打つてくるとなるとは思っていない。それだから自分の力を出し切るんだとか、投げ切るとか、投げ込むとか、気持ちの面で相手に負けないってことを意識して、春以上に、相手の気迫以上に向かっているから、上にいけるんじゃないかと思えます。自分のピッチングを変えるときか、折り返してもないんだしこれからつよ。

井口：(笑い)。

白崎勇：相手によって打球を変えるところでいう器用なことではできないから：内容的にこう変えるっていうのは特別に無いですね。結局研究しても実際打てないっていうのはあるんで。今日の紅白戦もそうですけど、あれだけ普段僕の球を見ていても打てないのに、たった春2、3回打席に立っただけで、それで研究しても打つてくるとなるとは思っていない。それだから自分の力を出し切るんだとか、投げ切るとか、投げ込むとか、気持ちの面で相手に負けないってことを意識して、春以上に、相手の気迫以上に向かっているから、上にいけるんじゃないかと思えます。自分のピッチングを変えるときか、折り返してもないんだしこれからつよ。

井口：(笑い)。

白崎勇：相手によって打球を変えるところでいう器用なことではできないから：内容的にこう変えるっていうのは特別に無いですね。結局研究しても実際打てないっていうのはあるんで。今日の紅白戦もそうですけど、あれだけ普段僕の球を見ていても打てないのに、たった春2、3回打席に立っただけで、それで研究しても打つてくるとなるとは思っていない。それだから自分の力を出し切るんだとか、投げ切るとか、投げ込むとか、気持ちの面で相手に負けないってことを意識して、春以上に、相手の気迫以上に向かっているから、上にいけるんじゃないかと思えます。自分のピッチングを変えるときか、折り返してもないんだしこれからつよ。



◆白崎勇(しらしきゆう) 89.12.14 生まれ / 投手 / 右投右打 / 178cm 身長 / 駒大経営学部3年



◆井口拓皓(いぐちたくあき) 91.1.16 生まれ / 投手 / 右投右打 / 175cm 身長 / 市川越高出身 / 経済学部経済学科2年

白崎勇「1部で投げたい」

個人的な目標

白崎勇：秋へ、個人的な目標をお願いします。白崎勇：…1部で投げたい。とりあえず1部に上がりたいです。個人的なことより、個人的な記録としては2部じゃ反映されないから、まあ強いて言えば勝つことですね。勝率10割とか。

井口「責任持ってる」

井口：最低でも何回つていうのはありますか？井口：…35回で(苦笑)。

井口：45回で。加茂：45回で。井口：45回で…全部9回つてことですか？加茂：9イニング×5試合。それくらいの気持ちでいけ。

井口：45回で。加茂：喜んで言え(笑い)。その気持ちが無いとだめだよ。とりあえず、それくらいこだわらないと。

井口：はい(苦笑)。

加茂：ダメでしょ。なに7イニングで終わろうとしているの？(苦笑)井口：50イニングで(笑い)。

井口：わかりました(笑い)。

白崎勇：50イニングつてことは完投もして抑えても投げて…。

加茂：おれの出番、無いじゃん(笑い)。

白崎勇：笑い